

ジャバラハウス内における淡水化装置(R03)高圧ポンプ吐出配管溶接部付近からの堰内漏えいについて

< 参考資料 >
2015年8月12日
東京電力株式会社

[概要]

- 日時:2015年8月12日10時17分頃
- 場所:淡水化装置(R03)ジャバラハウス内
- 漏えい箇所:RO3高圧ポンプ吐出配管溶接部付近
- 状況:
 - 10:17頃 RO装置(R03-3)の高圧ポンプ吐出配管から霧状の水を確認。
堰外への漏えいはなし。
 - 10:17頃 RO装置(R03-3)を停止
 - 10:20頃 霧状の水の漏えいが止まったことを確認
 - 11:40頃 配管溶接部付近のピンホールからの漏えい(しみ)を確認
 - 12:45頃 漏えい箇所の拭き取り完了し、受けを設置
 - 15:07頃 RO3-1の高圧ポンプ吐出配管の目視点検を行い、異常がないことを確認し、RO3-1を起動。
 - 15:24頃 RO3-1高圧ポンプ吐出配管に漏えいのないことを確認
- 漏えい量:約1リットル
- 線量測定結果:吸収材表面 0.007[mSv/h](1cm線量当量率:線)
0.693[mSv/h](70μm線量当量率:線)
周辺空間 0.01[mSv/h](1cm線量当量率:線)
0.03[mSv/h](70μm線量当量率:線)

(漏えい水は微量のためサンプリング不可)

<参考>

2015年7月17日に当該配管と同配管で発生した淡水化装置(R03)の高圧ポンプと配管接続部からの漏えいの際に採取した分析結果

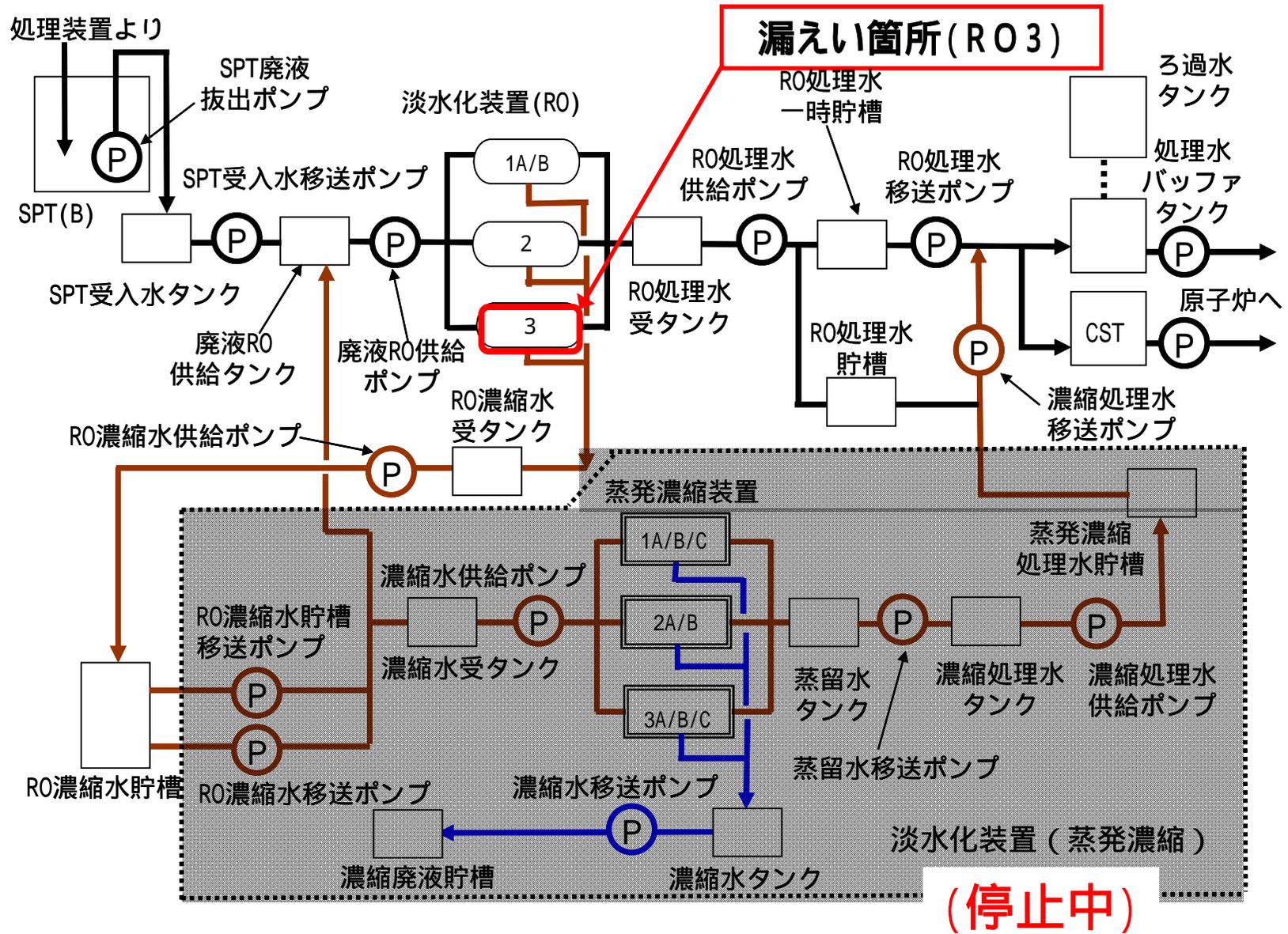
セシウム134: 8.0×10^2 Bq/L、セシウム137: 3.1×10^3 Bq/L、コバルト60: 6.6×10 Bq/L、全 : 6.3×10^4 Bq/L

[今後の対応]

RO3-3当該配管の調査および配管の交換を予定。

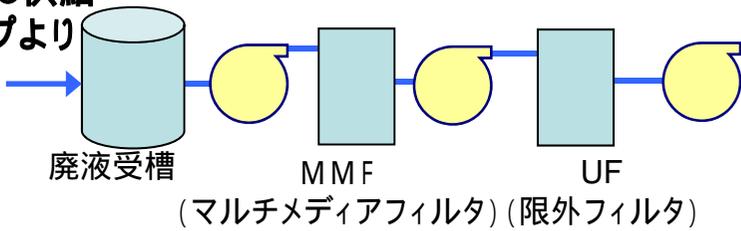
また、同様の構造を有するRO3の他スキッド(R03-1、2、4)についても類似箇所の点検もしくは交換を行う予定。

淡水化装置概略系統図

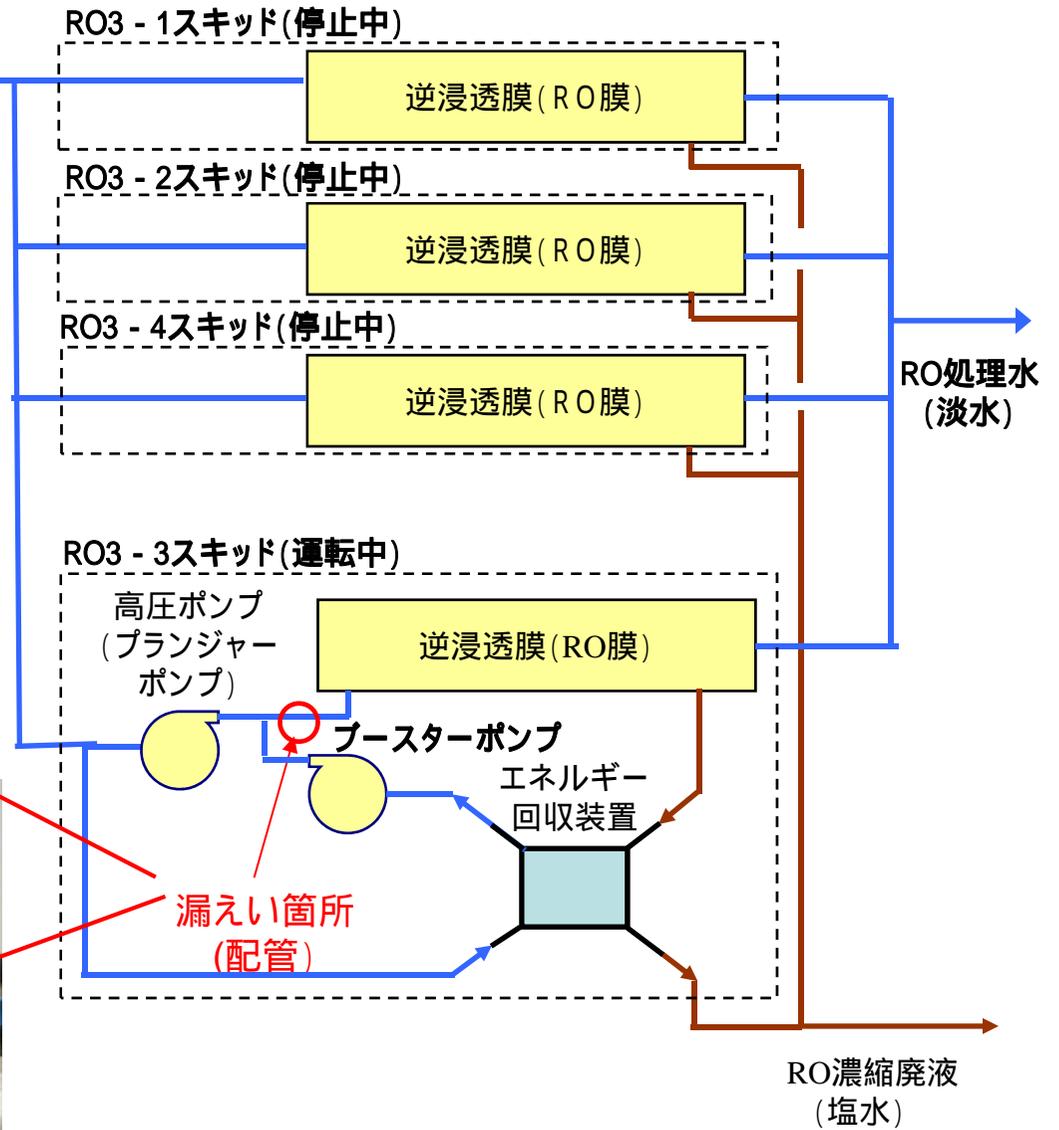
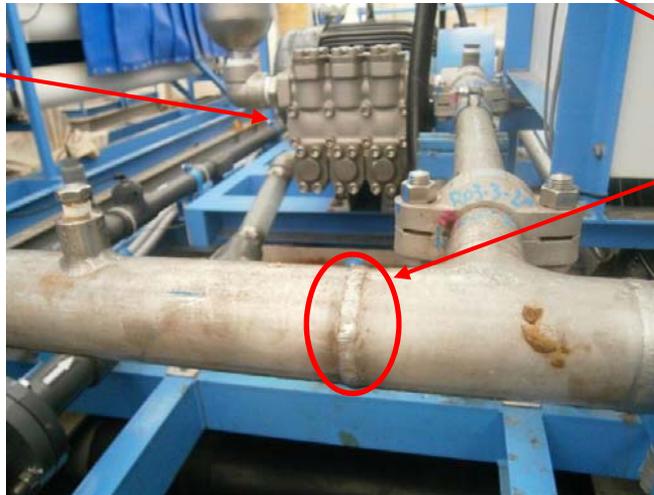


淡水化装置(RO3)の詳細図

廃液RO供給
ポンプより

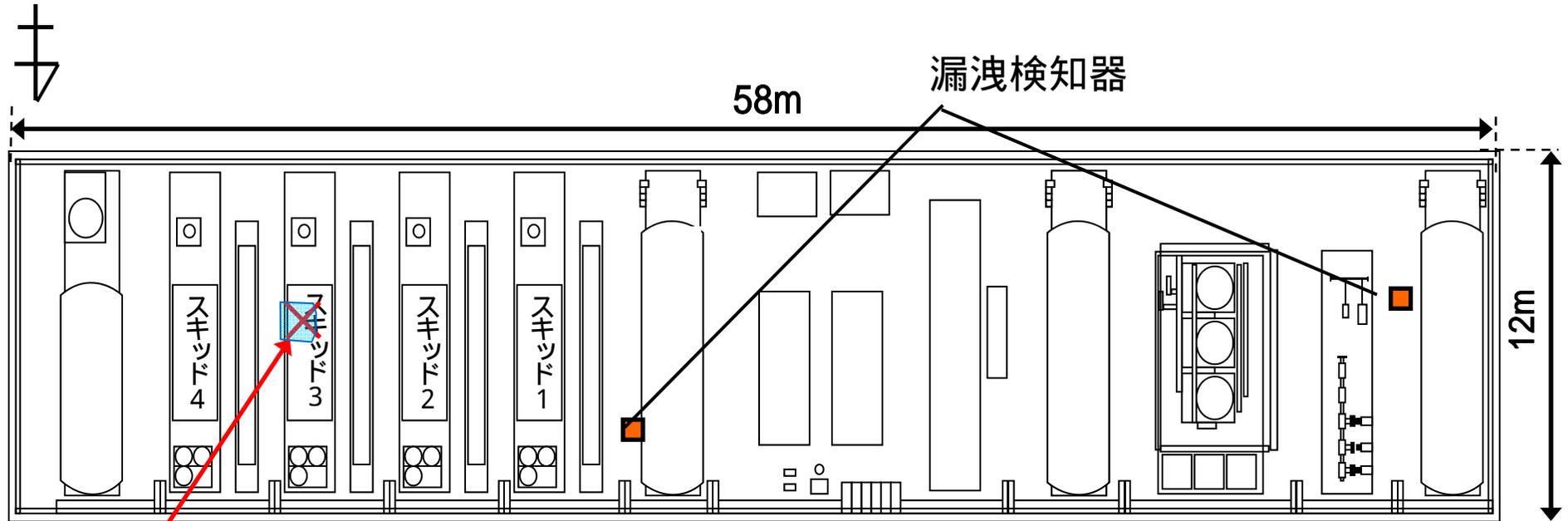


高圧ポンプ



淡水化装置(RO3)漏えい箇所

■淡水化装置(RO3)ジャバラハウス



漏えい箇所 漏えい範囲 $1\text{m} \times 1\text{m} \times 1\text{mm}$
(漏えい量1リットル)